

想定した経営類型 キウイフルーツ(露地)

1. 技術体系の特徴

経営類型	家族労働力	品目・栽培型及び規模		経営・技術の特徴
キウイフルーツ (ハイワード) 露地20a (動噴防除体系) 経営耕地面積 自作地20a	人	キウイフルーツ	a 20	1.無袋栽培 2.溶液受粉による省力化
	2.0	合計	20	
経営目標	1 農業総収入 2,030 千円		4 1日当たり農業所得 22,196 円	
	2 農業経営費 1,036 千円		5 1人当たり年間労働時間 179 時間	
	3 農業所得 993 千円			

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所 割 有 合	取得価格	耐 用 年 数	年 間 償 却 額
建物・施設	果樹棚【1,200千円】	2	平棚鉄支柱	1	千円 2,402	14	千円 86
	作業収納舎66㎡	1	鉄骨組み	1	3,136	24	131
	計				5,538		216
農機具	トラック(軽)	1	0.35t積み、4WD	1	697	4	87
	小型運搬車	1	2.2kw	1	163	4	20
	動噴	1	4.0MPa	1	199	7	14
	刈払い機	2	排気量20.9ml	1	88	7	6
	葯採取機	1	25kg/h(花量)	1	82	7	6
	開葯機	1	3,500cc(生葯量)	0.5	102	7	7
	計				1,332		141

3. 技術体系(キウイフルーツ:ヘイワード)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時間	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
間伐せん定	間伐せん定枝誘引	12月～1月	トラック	1	32	32		<ul style="list-style-type: none"> ・負け枝を作らないように留意する。 ・垂主枝が強大になり過ぎないようにする。 ・結果母枝は、棚面に均等に配置する。 ・結果母枝の目安 3～4本/m²
土壌改良	堆肥、土壌改良資材施用	11月	トラック	2	3.5	7	堆肥 2t 苦土入りカキガラ石灰 100kg	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌改良資材は土壌診断結果に基づいて施用する。 ・施用後は土とかるくかき混ぜる。
草生管理	草刈り	4月 8月 9月	刈払機	1	6	6	稲わら 1t	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌水分を保持し、干害防止のため、梅雨明け直前に敷きわらをする。 ・除草剤は夏草雑草発生期に留め、雑草草生による地力向上に努める。 ・使用薬剤、使用方法は県雑草防除基準による。
	除草剤散布	5～6月	動噴	2	2	4	除草剤	
施肥	基肥 夏肥 秋肥	11/上 6/上 9/上	運搬車	1	8	8	配合肥料 (N:10%)200kg	<ul style="list-style-type: none"> ・施肥量は、土壌の種類、樹勢、収量等により調節する。 ・基肥重点とし、施用後土と軽くかき混ぜる。 ・生育の旺盛な肥沃地では、春肥の窒素を控えめにする。 ・年間の窒素分施割合 基肥 夏肥 秋肥 50% 30% 20%
防除	薬剤散布等	3～12月	動噴	2	13	26	1回の散布量 300～500L	<ul style="list-style-type: none"> ・使用薬剤、散布時期、使用回数は県病害虫防除基準による。 ・病害虫の発生動向を十分把握し、適期防除に努める。 ・花腐細菌病対策として4月下旬に主幹部を専用ナイフで5mm幅に環状剥皮する。
新梢管理	芽かき 捻枝 摘心 誘引	4～8月		1	20	20	誘引ひも 2巻 テーパナー 1個	<ul style="list-style-type: none"> ・主枝、垂主枝上の芽は次年度に使えるもの以外はなるべく芽かきする。 ・結果枝本数は15葉程度のものであればm²当たり12本以内とする。 ・結果枝は10～15葉目が展葉したところ配置を考えて棚付けする。 ・棚下が暗くなり過ぎないように注意する。
摘らい受粉	摘らい花粉採取受粉	5/中～下	ハンドスプレー	1	12	12	純花粉量 8～16g	<ul style="list-style-type: none"> ・側花や小花は摘らいする。 ・花粉は250～500倍希釈とし、混和後2時間で使い切る。 ・人工受粉は、開花3日後までにていねいに行う。

3. 技術体系(キウイフルーツ:ハイワード)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時間	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
摘果	摘果	5/下 ~ 6/中		1	16	16		<ul style="list-style-type: none"> ・落弁5日目より摘果を始め、20日目頃に傷果、小果、変形果を除いて仕上げ摘果をする。 ・果実の接触部位はハマキムシの被害を受けやすいので、摘果するか袋かけを行う。 ・着果数の目安 22,000~25,000果
果実肥大促進	環状剥皮	6/下 7/下		1	2	2	剥皮ナイフ	<ul style="list-style-type: none"> ・主幹部に環状剥皮を5~7.5mm幅で2回行う。2回目は1回目の約30日後に実施する。 ・樹勢が低下している樹では行わない。
収穫出荷	収穫調整出荷	11/中 ~ 1/中	トラック	2	18	36		<ul style="list-style-type: none"> ・10果をランダムにサンプリングし、糖度7.0を目安に収穫時期を決定する。 ・収穫した果実は収穫したできるだけ早く出荷するか、貯蔵庫に搬入する。 ・果実はていねいに取り扱う。
その他	作業道排水溝防風垣の整備 災害対策など	1~ 12月		1	10	10		
計						179		

4. 品目の作付体系

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
キウイフルーツ (露地)	◆ せん定		↑	新梢管理	※	摘果 環状剥皮 施肥	環状剥皮		施肥		■ 施肥	◆◆

注) 生育ステージ記号 ↑:発芽 ◎:着果始め ※:開花 ■:収穫 ◆:出荷 ∩U:ビニール被覆・除去

5. 作業別・旬別労働時間(10a当たり時間)

品目・作業/月・旬	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
間伐せん定	7	5	4									8	32
土壌改良											4	3	7
草生管理				2	2	2		2	2				10
施肥						2			2		4		8
防除			2		2	2	2	2	2			2	26
新梢管理				1	2	1	1	2	1				20
摘らい・受粉					6	6							12
摘果						6	5	5					16
果実肥大処理							1						2
収穫出荷	4										16	16	36
その他				1			2		2				10
													0
													0
													0
計	7	9	4	0	0	0	2	0	3	1	3	2	29
月計	20	0	2	7	25	13	6	5	2	2	4	2	179

6. 総労働時間

品目・作業/月・旬	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計															
総労働時間	14	18	8	0	0	0	4	0	6	2	6	4	18	36	20	14	16	8	12	10	4	8	40	38	4	16	16	358
うち家族労働	14	18	8	0	0	0	4	0	6	2	6	4	18	36	20	14	16	8	12	10	4	8	40	38	4	16	16	358
うち雇用労働	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0